

〈解答〉

- ① (1) is called, by (2) were invited, by
 (3) ① were showed [shown], by ② was showed [shown], by
- ② (1) is making (2) was written (3) is spoken
- ③ (1) named the baby (2) made the children (3) do, call, bird
 (4) made us sad
- ④ (1) is used by (2) was built in (3) this flower called (4) are known to
 (5) can be seen
- ⑤ (1) The player is loved by many [a lot of] children.
 (2) When was this museum built?
 (3) What language is spoken in your country?
 (4) The book is read by young people around [all over] the world.

配点 ⑤各2点, 他各1点 24点満点

〈解説〉

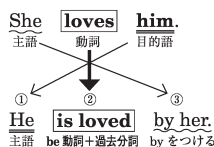
【1】受動態 「～される, された」のような受け身の表現は, 受動態で表す。

- (1) 能動態の文「AがBを～する」のように, 動作をするものが主語になっている文。
 (2) 受動態の文「BがAに～される」のように, 動作をうけるものが主語になっている文。
 (3) 受動態の形と意味 { 形 : **be 動詞+過去分詞 (p.p.)** (+ by 人)
 意味 : ～される, されている

Ellen **loves** Tom.
 エレンは愛している トムを
 Tom **is loved** by Ellen.
 トムは 愛されている エレンに (よって)

【2】受動態の文への書きかえ

(1) 受動態の文への書きかえ



- ①目的語→主語 *人称代名詞の場合, 目的格 (him) を主格 (he) に
 ②動 詞→be 動詞+過去分詞 (p.p.) *主語と時制による be 動詞の変化に注意
 ③主 語→by ~の形にして動詞のあとにつける *人称代名詞の場合, 主格 (she) を目的格 (her) に

*受動態から能動態への書きかえは, 上記の手順を逆に行えばよい。

(2) 〈by 人〉の省略

次のような場合, (by 人) を省略する。ア) 前後の内容から, だれがその動作を行ったかわかる場合, イ) だれが行ったのかわからない場合, ウ) 一般の人々を指す場合など。

{ They speak English in Australia. 「オーストラリアでは英語を話している」 *この they はオーストラリアの人々を指している。→ウ)
 English is spoken by them in Australia. 「オーストラリアでは英語が話されている」

* (by + 人) が省略されている受動態の文を能動態へ書きかえる場合は, by them [people] や by us などを補って考えること。

(3) 受動態の現在形と過去形

{ 現在形 : **is [am, are] + 過去分詞 (p.p.)** 「～される, されている」 Tom **is loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されている」
 過去形 : **was [were] + 過去分詞 (p.p.)** 「～された, されていた」 Tom **was loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されていた」

【3】受動態の否定文と疑問文

{ 否定文 : 主語 + **be 動詞 + not + 過去分詞 (p.p.)** (+ by 人). Tom **isn't loved** by Ellen. 「トムはエレンに愛されていない」
 疑問文 : **Be 動詞 + 主語 + 過去分詞 (p.p.)** (+ by 人)? **Is Tom loved** by Ellen? 「トムはエレンに愛されていますか」
 応答文 : **Yes**, 主語 + **be 動詞**. / **No**, 主語 + **be 動詞 + not**. Yes, he **is**. / No, he **isn't**.

【4】注意すべき受動態

(1) 第4文型 (SVOO) の受動態…二通りの受動態ができる場合がある。

{	Ellen	told	<u>us</u>	<u>the story</u>	「エレンは私たちにその物語を話しました」
	主語	動詞	目的語 (人)	目的語 (もの)	
{	<u>We</u>	were told	<u>the story</u>	by Ellen.	「 <u>私たちは</u> エレンによって <u>その物語を</u> 話されました」
	主語 (人)	be 動詞 + 過去分詞	目的語 (もの)		
{	<u>The story</u>	was told	<u>(to) us</u>	by Ellen.	「 <u>その物語は</u> エレンによって <u>私たちに</u> 話されました」
	主語 (もの)	be 動詞 + 過去分詞	目的語 (人)		

(2) 第5文型 (SVOC) の受動態

{	We	call	<u>the girl</u>	Ellen.	「私たちはその少女をエレンと呼んでいます」
	主語	動詞	目的語	補語	
{	<u>The girl</u>	is called	Ellen.		「その少女はエレンと呼ばれています」
	主語	be 動詞 + 過去分詞	補語		

(3) by 以外の前置詞を使う受動態

- **be interested in** ~ (～に興味がある) He is interested in music. 「彼は音楽に興味がある」
- **be known to** ~ (～に知られている) Tom is known to everyone in this town. 「トムはこの町の人に知られている」
- **be surprised at** ~ (～に驚く) I was surprised at the news. 「私はその知らせに驚いた」
- **be covered with** ~ (～でおおわれている) Mt. Fuji is covered with snow. 「富士山は雪でおおわれている」
- **be made of** ~ (～で作られている 〈材料〉) This desk is made of wood. 「この机は木でできている」
- **be made from** ~ (～で作られている 〈原料〉) Paper is made from wood. 「紙は木でできている」

* be made of か be made from か…目で見て材料がわかれば of、見ただけでは元の原料がわからないような場合が from。